新型コロナウイルスによる不安を解消するために

～生活にお困りの方へ～

住居確保給付金

離職・廃業から2年以内の方、又は休業等により収入が減少し、離職・廃業と同程度の状況にある方に家賃相当額を原則3か月（最長12か月※）支給します。
※令和2年度中に申請された方
問合せ 住居確保給付金相談コールセンター
☎0120-23-5572（毎日9:00 ～ 21:00）

生活福祉資金の特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態などになり、収入が減少して生活資金にお悩みの方。
問合せ 個人向け緊急小口資金・
総合支援資金相談コールセンター
☎0120-46-1999（毎日9:00 ～ 21:00）

各種制度は淀川区役所の**生活自立相談窓口**でも相談できます。
問合せ 淀川区役所 生活自立相談窓口（区役所3階）
☎6195-7851（平日：9:00～17:30）

～不安やストレスを感じている方へ～

新型コロナこころのフリーダイヤル

新型コロナウイルスの影響により、不眠や興奮、恐怖感などこころやからだの変化により不安を感じておられる方へ、電話相談を行っています。
☎0120-017-556
（毎日：9:30～17:00）

その他にも新型コロナウイルスの影響を受けた事業者や個人の方を支援するための制度があります。詳しくは「**新型コロナウイルス感染症対策支援情報サイト**」をご覧ください。

淀川区住みます芸人 職人の 職人奮闘記

淀川区住みます芸人「職人」が、笑いあり、スベリありの奮闘記と共に淀川区各地域のイベントをレポートします！

第20話「恐怖の向こう側の巻」

▼同期と震えていた本番前

▲会場の朝日生命ホール

先日、僕こーぞーはM-1、キングオブコントに次ぐお笑い3大賞レースである1人芸No.1を決める大会『R-1グランプリ』に出場してきました！結果は見事に1回戦敗退となりました！（涙）

普段コンビで漫才をしている僕からするとそれはそれは孤独で恐ろしい独特な空気で、絶叫マシンに乗る前の感覚に近いです。ピン芸人って凄いなと改めて実感しました。来年は優勝を目指す気持ちでリベンジします！

区民伝言板

2月号の「区民伝言板」は、お休みさせていただきます。

「区民伝言板」は、区民の皆さんの自主的な活動を応援し、区民活動を支援するコーナーです。

掲載記事募集中！

4月号への掲載は2月25日必着の郵送・メール・持参でお申し込みください。

申込みにはルールがありますので、「区民伝言板」のホームページをご確認ください。

問合せ 政策企画課（広報）
5階51番　☎6308-9404

編集後記

よどマガ！も我慢の日々が続いています。みなさんに明るい気持ちになってもらうには……、といろいろ考える毎日です。そのために、まずは手洗い、うがい、そしてスマイル！
（広報担当:坂本）

▲夢ちゃんはいつもスマイルだよ～！

今月のイベントピックアップ!

アイシングクッキー教室

クッキーにアイシングで可愛くデコレーションしてみませんか?今回はバレンタインにちなんだ絵柄のクッキーを作ります。

日時 2月11日(木・祝)・14日(日)
①10:30～12:00 ②13:30～15:00
対象 市内在住の①小学生以上(未就学児は親子で参加)②18歳以上の大人
講師 TINT・tomoさん(アイシングクッキー講師)
費用 1,000円(材料費・お持ち帰り袋有)
持物 マスクとタオル
定員 ①②ともに6名(先着順)
申込 2月5日(金)10:00から来館または電話にて
問合せ 淀川区民センター ☎6304-9120

2月イベントカレンダー

8日(月)	マタニティクッキング申込み開始 ▶4面
	健康&食育パネルフェスタ 骨粗しょう症検診予約開始 ▶4面
16日(火)	個人市・府民税申告受付開始(～3月15日(月)) ▶16面
	確定申告 申告書作成会場開設(～3月15日(月)) ▶6面
19日(金)	不動産相談 ▶8面
22日(月)	行政書士相談 ▶8面
28日(日)	日曜開庁日 ▶6面

3月イベントカレンダー

1日(月)	区民ギャラリー申込受付 ▶6面
	行政相談 ▶8面
	4月12日(月)開催　妊婦教室申込み開始 ▶8面
5日(金)	健康&食育パネルフェスタ ▶4面

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止にご注意ください。

当区をはじめ各所でイベントなどの開催が予定されているところですが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況により、参加者および関係者の健康・安全面を考慮した結果、イベントなどが中止となる可能性がございます。イベントなどへの参加にあたりましては、主催者などに事前にご確認ください。

やまちゃんの"こころ"

淀川区長 山本(やまもと) 正広(まさひろ)

天職と感謝

区長をやらせてもらって毎日感謝していることを書きます。ある局の課長をしていた頃、別の課が某団体とある優遇措置廃止の件でもめているのは聞いていたのですが「このままではAとBがつぶれるねん」と部長にその課への異動を命じられました。A、Bはもめている課の課長で、局の生え抜き。「え?俺は、つぶれてもええのん?」と思いつつも命令なので仕方ない。でも何故かそこの理事長と仲良くなってしまって懸案解決。内心「1年目でミッションクリアしたから、まあ2年目はちょっと楽できるかな」と思っていたら、別の課で似たような仕事。さらに次の年は別の局で似たような仕事。その後の異動が旭区長でした。その前の3年間は、いわば朝から相手が「さあ、喧嘩しよか」と腕まくりしてる所に飛び込んでいく感じだったのに、今度は「わあ、区長さんが来てくれはった!」と手を叩いて喜んでくれる。これは仕事に文句言ってたらバチがあたるなと思いました。

夜の地域での会議。仕事で疲れてるんやから風呂入ってビール飲んで阪神のTV中継でも見たいとこを汗かいて集会所に飛び込んでくる役員さん。イベントは終わってからも片付けが大変。ようやく打ち上げになったけど、乾杯もそこそこに「今年はここがあかんかったから、来年はこうしよう!」と議論を始める皆さん。私は区役所の職員にできるだけ多くこうした地域の方々の姿を見てもらうことが「ニア・イズ・ベター」とかPDCAといった横文字を上っ面だけ弄ぶよりよっぽど大事だと思っています。

淀川区長になってからも、よく「休みの日にすんませんなぁ。大変ですねぇ」とか言ってくださるのですが(働き方改革の時代には真逆ですけど)今日も地域の人に会えると思うと朝から楽しみで仕方ありませんでした。大げさに言うと私にとって淀川区長は天職のようにありがたい立場で、大したことも出来ずに申し訳なかったのですが、許されるならまだまだ続けたかった。毎日が感謝、感謝の毎日です。任期満了の3月末までどうぞよろしくお願い申し上げます。